

日本大学

芸術学部 写真学科

学科・学年を超えた交流で 広がる視野と可能性



8×10サイズの大型カメラを使った実習



屋上での日中シンクロ撮影



大スタジオでのポートレート撮影

写真学科のほか、映画、演劇、放送、デザインなど8つの学科を有する日本大学芸術学部。学科のジャンルを超えた「芸術教養課程科目」を多く受けられるので、写真だけではなく幅広い知識に触れることができます。写真学科内でも、写真家はもちろん、ギャラリストや編集者などを招く授業を実施。写真に関わる仕事の多様な選択肢を知ることができるのも魅力の1つです。2019年4月には全学年が江

古田キャンパスでの修学に。学科間の「横の繋がり」に加えて、暗室やスタジオ利用時に先輩・後輩など学生同士の交流も増え、学年を超えた「縦の繋がり」も持ちやすくなりました。また、写真学科は2019年で創設80周年。それを記念して、展覧会やイベントが予定されています。芸術学部としては100周年を控え、歴史を深めつつ、将来を見据えた新しい取り組みも積極的に取り入れていきます。

CHECK POINT!

- ✔ 写真表現の創造力を広げる8学科のアート!
- ✔ デジタル技術や古典技法の実習、写真芸術学などの講義といった多彩な授業!
- ✔ スタジオ、暗室、デジタルフォトラボなどの施設や機材が充実!

MESSAGE



高橋智史さん 2007年3月卒業

たかはしさとし/フォトジャーナリスト。1981年秋田生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業。2007年から2018年までカンボジアに居住し、同国の人権問題を集中的に取材。2014年「名取洋之助写真賞」、2016年「三木淳賞奨励賞」、2019年「土門拳賞」受賞。

日芸写真学科に入学する前、私はNGOスタッフを目指し、国際協力を学ぶ専門学校に通ってました。その経験の中から、戦争や紛争、権力の横暴によって、弱い立場に不当に追いやられていく人々の届かぬ願いを伝えたいと思うようになり、写真の持つ「伝える力」を信じ、フォトジャーナリストを目指すために写真学科に入学をしました。その決意の下で、在学中からカンボジアを始めとした東南アジアの国々で社会問題の取材を開始しました。写真学科での尊い時間は、忘れ得ぬ学びと挑戦の日々でした。



©高橋智史

INFORMATION

- オープンキャンパス 6月23日(日)
 - 日芸祭 11月2日(土)～4日(月) ※入試相談会は3日・4日
 - 日芸の卒博・入試博覧会 2020年3月15日(日)～22日(日) 入試博覧会は22日のみ開催
- ※いずれも予約不要 施設見学は随時受け付けています。
- 写真学科創設80周年記念 オリジナルプリント展 「ファインプリントの伝統—20世紀のアメリカの写真—」 5月8日(水)～6月7日(金) 9:30～16:30(土曜12:00まで) 日曜休館・日本大学芸術学部芸術資料館



〒176-8525
東京都練馬区旭丘2-42-1
☎03-5995-8210
西武池袋線
江古田駅より
徒歩1分

